

ヘビーコーナー 20、ヘビーコーナー 20 合板タイプ 土台使用時の説明資料

いつも弊社製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

弊社柱接合金物「ヘビーコーナー 20」「ヘビーコーナー 20 合板タイプ」の土台箇所使用に伴う注意事項をご案内いたします。

1. この資料の位置付け

この資料は設計者及びそれに準ずる業務を行う方々へ、ミドルコーナー 15 など 15 kN 以上の耐力を持つ柱接合金物（以下、同金物）を土台柱脚部に使用する場合、ご注意頂きたいポイントを紹介し適切に設計へ反映頂き、より安全に製品をご使用頂くための資料です。

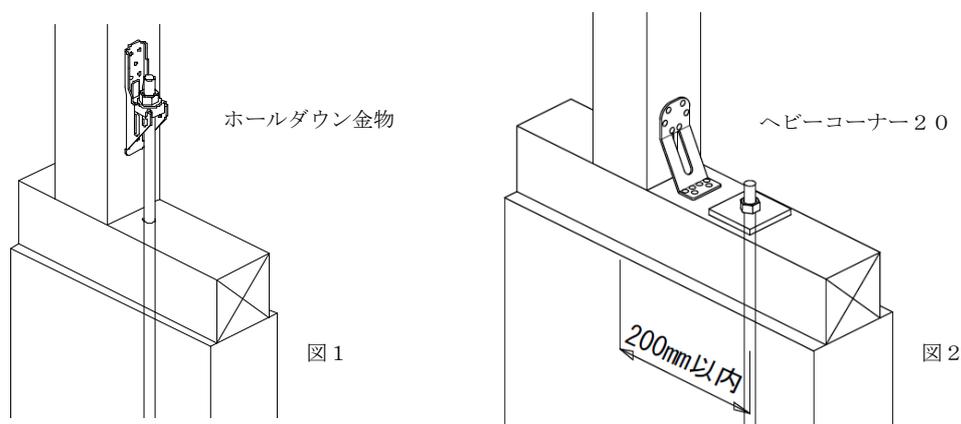
2. ご注意頂きたいポイント

同金物を土台の柱脚部で使用する場合は、柱の引抜き力により土台が基礎から持ち上がらない事を別途確認して下さい。

3. 注意が必要な理由

土台の柱脚部で一般的に使用されるホールダウン金物は、アンカーボルト（M16）により **柱と基礎**を直接緊結しています。この時ホールダウンの耐力が発揮されるには、基礎とアンカーボルトがホールダウンの耐力に耐えられる必要があります。（図 1）

同金物を土台の柱脚部で使う場合、**柱と土台**を同金物で緊結し更に**土台と基礎**をアンカーボルトで緊結します。同金物の耐力が発揮されるには、土台と基礎の緊結が同金物の耐力に耐えられる必要があります。（図 2）



4. 土台と基礎の緊結が同金物の耐力に耐えられる事の確認とは

具体的な確認方法の例として「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（(公財)日本住宅・木材技術センター発行) 2.4.9 土台の曲げとアンカーボルトの引張、および、せん断の検定などがあります。

確認する項目は以下の3点になります。(詳細は出典元を参照下さい。)

- a. アンカーボルトの引張耐力が足りている。
- b. 座金のめり込み面積が足りている。
- c. 土台材が曲げに耐えられる。

また、上記以外にも柱・土台を再現した実験により確認する方法も考えられます。

5. 実験による確認

弊社柱接合金物「ヘビーコーナー20」「ヘビーコーナー20合板タイプ」では実験にて耐力を確認しております。(ハウスプラス確認検査(株) 性能試験)

そのため下記仕様内にてご使用いただければ、4. a~cの検討によらず性能試験数値を使用出来るものとします。

樹種	木材サイズ	固定距離 (金物側)	アンカーボルト	座金	座掘り
スギ以上	105角以上	200mm以内	M16	W9.0×80以上	無し

※実験の詳細につきましては、弊社ホームページより成績書をご確認下さい。

上記の仕様以外で使用される場合は、4. a~cの検討を行い安全確認した上で、ご使用下さい。

例：土台材に座彫り加工をする。 ⇒ 4. a~cの検討により安全を確認する。

これからも弊社製品をご愛顧頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

※新築など建築確認申請が必要な木造住宅に使用する場合は、事前に関係行政に確認してください。